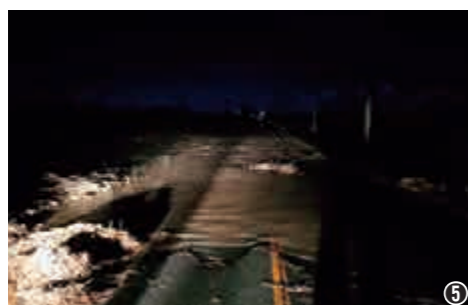




— 未だかつて経験したことのない災害  
まさかの時はやってきた —  
2019.10.12



①冠水により、鞍掛橋方面への通行止めを知らせる看板が見えなくなる程の水が押し寄せた②③河川が増水し、12日午後5時55分に市野川周辺の住民に対し「警戒レベル4避難指示(緊急)」を発令した【②星城団地付近③北分署付近】④国道、県道を含め多くの道路が冠水し交通機能がまひした【県道福田鴻巣線東平(北)信号付近】⑤13日午前2時ごろの都幾川左岸高野橋付近の様子。河川の氾濫により、先に進むことができなかった⑥一部の避難所は周辺道路が冠水し、避難所としての機能を失った【北中学校】

令和元年台風第19号の被害に対するご支援をお願いします

このたび、台風第19号で被災された皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。

河川の氾濫に伴う家屋の損壊・浸水や道路の冠水など、台風第19号の被害は甚大であり、その影響は現在も続いております。そして今、なお多くの市民の皆さまが不自由な生活を強いられています。このたび、被災した地域は市内の南部を流れる都幾川、新江川、九十九川の流域ですが、市民の皆さまにはこの厳しい現実を是非共有していただき、皆さまのできるご支援をお願いいたします。

そしてこのような中、発災直後から、たくさんの団体や個人の皆さまから温かいさまざまな活動や物資などご支援・ご協力をいただいておりますことをご報告申し上げます。皆さま、本当にありがとうございます。

市としても、被災者の皆さまが一日でも早く安心できる日常を取り戻すことができるよう、生活や事業の再建に向け、全力で取り組んでおります。

引き続き、市民の皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東松山市長 森田光一

①12日友好都市の宮城県東松島市に支援物資を要請。同日夕方には市内各一時避難場所に物資が届き、渥美巖東松島市長からのメッセージを受け取りました。②災害対策本部会議の様子。各部所の活動内容の確認と問題点を洗い出し、迅速な被災対応のための方法を検討した。





①災害ごみの搬入先になっている西本宿不燃物等埋立地には車の列ができた②③被災地区からは多くの災害ごみが出ている【②西本宿不燃物等埋立地③田木】



④災害ボランティアとして活動する大東文化大学の学生【早俣】⑤埼玉西武ライオンズの選手による炊き出しが行われた⑥ボランティアの受け入れも始まった⑦友好都市の宮城県東松島市からの救援物資⑧千葉県富津市からの救援物資⑨床上浸水した住宅は片付け作業に加えて消毒作業に追われた【あずま町】⑩⑪堤防の復旧工事は夜通し行われた【⑩奈目曾樋管付近⑪九十九川水門付近】⑫国土交通省の TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) による正代周辺の排水作業



## 歩み始めた 復興への一歩



①都幾川と九十九川水門付近が破堤し、多くの水が流れ込んだ【早俣橋周辺】②④破堤した都幾川右岸【②神戸大橋付近④正代】③高坂市民活動センターは床上まで浸水⑤熊谷地方気象台によると300ミリ(mm)を超える雨が降り、土砂崩れが発生した【市民の森】⑥管理事務所が流され、くらかけ清流の郷の営業再開のめどは立っていない⑦破堤した新江川【山王樋管付近】⑧氾濫によりえぐられた道路【葛袋】

## 見えてきた 被害の状況